

The 32nd Neuroscience Seminar のご案内

このたび、英国Southampton大学教授のRoxana Carare先生をお招きし、下記のセミナーを開催します。Carare教授は同大学臨床神経解剖学の教授で、アミロイドβ蛋白といった脳内の物質が、血管周囲のドレナージ経路から脳外へ排出されていることに関する研究で世界をリードしている研究者です。

今回、熊本で開催されるISA2018で来日されるのに合わせて、金沢大学でのご講演をお願いいたしました。血管周囲ドレナージ経路の障害とアルツハイマー病発症との関連や、血管周囲ドレナージ経路をターゲットとした治療法開発の可能性について、大変興味深いお話をお聞きすることができると思います。どうぞお気軽にご参加ください。

記

Professor Roxana Carare

Clinical Neuroanatomy, University of Southampton, UK

“Failure of intramural periarterial drainage of fluid as a therapeutic target for Alzheimer’s disease”

日時：平成30年3月30日（金）
17時30分～18時30分

場所：金沢大学医学類B棟1階 小会議室

後援：金沢大学十全医学会

問い合わせ先：金沢大学大学院 脳老化・神経病態学（神経内科学）

担当：坂井、辻口／TEL 076-265-2293